

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	小手指公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 小手指公民館 TEL 2948-1295
-----	------------	----	------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民を対象とする。	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	18,230	人

活動の内容	(何を したか)	1.職員サイドによる企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討する。 2.生涯学習情報紙及び公民館だよりを活用して参加者の募集を行う。 3.事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。							
		活動実績	項目名 主催事業数	35 ----- 単位 件	項目名 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	233 ----- 単位 件	項目名 アンケート結果の分析	230 ----- 単位 件	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,486	2,812	17,373	51.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	98.71244635 ----- 単位 %	109.7 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
	終了 ⇒ 事業完了 終了 休止					
予算	* 現状どおり 増額 減額 終了					

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120702	TEL	2948-1295
事業コード	120702		教育委員会教育総務部 小手指公民館			
開始年度 昭和 26 年度 一 終了年度 平成 年度			グループ	小手指公民館		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)			
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育 中柱 1人と地域をはぐくむ社会教育の推進 小柱 (3)地域とともにあゆむ公民館活動の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○   H20 ○			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市民を対象とする。			利用数の考え方 公民館主催講座の受講者数				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 18 年度	17,275	人
			平成 19 年度	339,058	人	平成 19 年度	18,230	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 1.職員サイドによる企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討する。 2.生涯学習情報紙及び公民館だよりを活用して参加者の募集を行う。 3.事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				

平成19年度中に改善した点  
前年度、企画準備委員会を組織出来なかった講座について、積極的なPRを行った結果、企画準備委員が集まり、市民と講座の内容について検討する形式で行うことが出来た。参加者が少なかった講座については、講座内容及び講師の見直しや、開催時期について、再検討を行った。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		4,583	4,486	2,910
	決算(見込み含む)		4,280	2,812	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 1.65 人 ) ( 0.25 人 ) ( 0.90 人 ) ( 0.20 人 )			
	正規職員人件費		2.80 人 25,760	1.55 人 14,561	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		30,040	17,373	
	財源内訳	一般財源	30,040	17,373	2,910
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		88.9	51.2	
	利用数一単位あたり(単位:円)		1,738.9	953.0	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	主催事業数	年間事業数	件	33	35	35	
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	アンケート回答件数	件		233	500	
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件		230	500	
	成果分析	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	目標値	80	90	90	90
実績						99	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
達成率						109.7		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題		参加者の満足度は非常に高いもの、参加者そのものが少ない講座があり、広報方法や企画組立方法の再検討が必要と思われる。			
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	地域のニーズに合った講座を企画	企画準備委員会方式による講座数の拡大	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	趣味や学習を通じて交流を図る事を望む人の需要は潜在的にあり、今後、団塊の世代の退職者が増えることにより、公民館を利用する市民は増えると思われる。このような状況を踏まえ、事業に見合った予算を確保し、職員体制を整えた上で、効果的な事業を展開する必要がある。			
評価日	平成19年5月15日	記入者職氏名	館長 森田 清美		

⑨個別計画における方向性	一次評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了			
	二次評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	年度用事前評価	評価理由	評価日			
		部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価日					

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			